

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

- 本日
会員卓話「地区国際奉仕タイ検証ツアー報告」
田中会員／西谷(英)会員
- 次週予定
創立記念夜間例会／光風館・石亭

配偶者誕生日
2月23日 遠藤 正子

No. 2547

第31回 2月20日

出席報告

前例会

会員総数	42名
出免会員	10名
出免出席	4名
基準会員出席	20名
出席率	66.66%

前々々

第28回 1月30日

欠席会員	11名
内メイクアップ	4名
修正出席率	81.08%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告

1. 本日例会にて、留萌地方特別支援教育連盟
に対して社会奉仕事業の一環として支援金を
贈呈いたします。



幹事報告

- ・深川RC、妹背牛RCより会報と2月例会案内を受領しました。
- ・芦別RCより会報を受領しました。

ゲスト

留萌地方特別支援教育連盟

留萌港南中学校 校長 太田 徹様

留萌港北小学校 教諭 西野 珠美様



愛好会

音楽カラオケ愛好会 中川会長
2月27日の創立記念夜間例会に行われる委員長
対抗歌合戦の曲名と概要が決定いたしました。
1番が広報・クラブ会報委員会の堀委員長で、
歌は松山千春の「君を忘れない」、2番は例会運
営委員会対馬委員長で、ザ・リガニーズの「海
は恋してる」、3番は親睦活動委員会の行徳委
員長で、鶴岡雅義と東京ロマンチカの「小樽の
ひとよ」、4番は会員研修委員会の高田委員長
代理で、氷川きよしの「初恋列車」、5番は会
員増強委員会関野委員長で、平和勝次とダーク
ホースの「宗右衛門町ブルース」、6番は奉仕プ
ロジェクト委員会森委員長で、岡本敦郎の「高
原列車は行く」、7番は職業奉仕委員会中川委
員長で、冠二郎の「さすらいの旅」、8番が社

会奉仕委員会の辻本委員長で、河島英五の「酒と涙と男と女」、最後が国際奉仕委員会鈴木委員長で、梅沢富美男の「夢芝居」です。

1曲につき2番で終了。審査員と景品は愛好会にて選定中。審査基準は、歌唱力、演技力などを総合的に判断(独断と偏見)することしております。

3分間情報……………

会員研修委員会 福士委員長
「未来の夢計画」

今回は、助成金の資金の支給方法について発信致します。お手元の資料を見ていただければ一目瞭然ですが、私の方からは新地区補助金とグローバル補助金の違いについて発信したいと思います。申請方法は新地区補助金は地区が一括して申請(1ロータリー年に1回)し、補助金を受け取り、地区からクラブに補助金を授与する。グローバル補助金は、プロジェクトごとに提案書を提出し、その後申請書を提出する。期間は、新地区補助金は比較的短期のプロジェクト。長くても補助金を受け取ってから24ヶ月以内に完了しなければならない。マルチ・イヤー奨学金でも2年を超えてはならない。グローバル補助金は長期にわたるプロジェクトで、奨学金の場合は、1年から4年。奨学金の場合、新地区補助金では、高校、大学、大学院のいずれでも可で、学校は国内、海外を問わないが、高校生の海外留学は不可となっている。グローバル補助金は、重点分野で海外の大学院で学ぶ場合のみ。国内、海外で言うと、新地区補助金は国内事業にも、国際レベルの事業にも利用できるが、グローバル補助金は2ヶ国以上のクラブまたは、地区が参加する国際プロジェクトのみ利用できる。ロータリーの有無では、新地区補助金はロータリーの有無は問わないが、グローバル補助金はロータリークラブが存在する国及び地域のプロジェクトのみとなっている。プロジェクトの分野で言えば、新地区補助金では問わないが、グローバル補助金では指定された6つの分野のいずれかに該当するプロジェク

トでなければならない。以上、ほかにまだまだありますが、重要な点のみを挙げてみました。次回は、ロータリー財団の推奨する財団部門の基本的な委員会構成について発信します。

ニコニコBOX……………

・ちょっと良い事がありました 山本会長

前 回	476,700円
今 回	2,000円
累 計	478,700円

プログラム……………

「来賓卓話」

留萌地方特別支援教育連盟

港南中学校校長 太田 徹様

本日は、留萌ロータリークラブの例会にお招きいただきありがとうございます。留萌市立港南中学校で校長をしております太田と申します、どうぞよろしくお願い致します。こういう会でお話するのは初めてで、大変緊張をしております。学校の校長は話すのが仕事だから、話は得意だろうという趣旨のちまたでの噂があるようですが、それはまったくの誤解でして、教職員や児童生徒や保護者を相手に学校のことを話す分には問題ないのですが、その他の場面や分野についての話になりますとまさしく「借りてきた猫」状態です。



従いまして、本日の話もまずは、今日お招きをいただく要因となりました、留萌地方特別支援教育研究連盟いわゆる留特連の副委員長としての立場からのお話をさせていただきたいと思えます。

ご承知の方もいらっしゃると思いますが、留特連というのは留萌管内の小中学校のうち特別支援学級を設置している学校とその学級担任等で組織されています。内訳は、学校数で27校、

校長27名、担任等87名、現在計114名で組織されております。委員長は東光小学校の真栗校長です。特別支援学級に在籍する児童生徒数は166名です。留萌市でいいますと、小学校7校、中学校2校、児童生徒数は、通級(51)も含め88名となります。留萌市全体では、小学校の児童10校で1040名、中学校で540名程度のうちということですが。

主な活動ですが、「特別支援教育の研究会・研修会を開催し、教職員の資質の向上に努める。」という方針の下、南部ブロック・北部ブロックそれぞれでの合同学習会、授業研究。留萌・宗谷地区言語障害児教育研究会への参加。研究部と広報部を置き、研究会・研修会の企画運営、研究集録・会報の発行などを行っております。来年度は、平成25年9月20日・21日に留萌市、小平町、増毛町の学校を会場として全道大会を開催する予定となっております。

留萌管内の特別支援学級の実態としては、114名の担任等のうち、免許を取得し専門とする教員は2割程度で、残りは専門外の先生によって学級が運営されている状態です。長く専門として担当しているものも少なく、各学校は専門機関に助言をおおぐなど、それぞれ工夫をしながら一生懸命取り組んでいるところですが、専門的な取組や地域・保護者とうまく連携をとるなどが難しいところもあり、本連盟の活動が大きな意味を持ってくのが実情だと思います。また、学校での活動以外の「合同学習会」や「宿泊学習」などは、子供たちにより広く体験させようと企画していますが、予算の面でも大変なところがあり、「留萌ロータリークラブ」や「手をつなぐ育成会」などから寄付をいただき運営しなければならない状況でもあります。今年度も、今月の15日に、南部ブロック小中合同学習会として、「卒業を祝う会」をそういう中で開催する予定となっております。改めまして、これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、これからも引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

留萌地方特別支援教育研究連盟

「留特連」の活動

留萌地方特別支援教育連盟

港北小学校教諭 西野 珠美 様

1. 留特連とは…

「留萌地方特別支援教育研究連盟」の略称で留萌管内の特別支援学級設置校の校長、特別支援教育担当教員が、任意で加入し、会員相互の研修と実践活動を通して、特別支援教育の充実と振興を図ることを目的としている。

平成24年度の会員は、114名

2. 留特連の組織と活動内容

〔研究部〕研究・研修の推進・研究大会の運営

第1部会 特別支援学級教育研究

第2部会 言語障害児教育研究

〔広報部〕会報の発行

年3回の会報の発行

〔北部・南部ブロック〕

授業研究・合同学習会の実施

3. 研究主題

第1部会 特別支援学級教育研究

「主体的に学習に取り組み、豊かに生きる子どもの育成」

第2部会 言語障害児教育研究

「わかり合いを大切にした支援のあり方を考える」

4. 特別支援教育学級の種類

① 弱視特別支援学級

拡大鏡の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な程度のもの

② 難聴特別支援学級

補聴器の使用によっても通常の話声を解することが困難な程度のもの

③ 肢体不自由特別支援学級

歩行や筆記などが困難な程度のもの

④ 知的障害特別支援学級

知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困



難である程度のもの

小集団の中で、児童生徒の障害の特性等に応じて、特別な教育課程を編成し、指導方法を工夫して教育を進めています。また、教科や学校行事などの様々な機会に通常の学級との交流が行われ、望ましい人間形成が図られています。

小学校では、健康な体づくり、基本的な生活習慣の確立、社会生活に必要な言語の理解や表現、数量の処理などが指導の中心になっています。一人一人の児童の障害の特性等に応じて、国語、算数の学習を個別に進めたり、児童の興味・関心に合う活動を中心に集団で学習したりしています。

中学校では、対人関係や集団参加を円滑にするための指導や、職業生活・家庭生活に必要な知識、技能及び態度を身に付けるための指導が中心となります。生徒の障害の特性等に応じて、基礎的な学力を身に付けたり、作業学習を通して働くことの意義を理解し、働く喜びや態度を身に付けるよう指導内容・方法を工夫しています。

また、生徒会活動や部活動などを通して、通常の学級の生徒と活動を共にする機会を設けて、社会性の育成、経験の拡大を図る配慮をしています。

⑤ 病弱・身体虚弱特別支援学級

- 1 慢性の呼吸器疾患その他の疾患の状態が持続的又は間欠的に医療又は生活の管理を必要とする程度のもの
- 2 身体虚弱の状態が持続的に生活の管理を必要とする程度のもの

⑥ 自閉症・情緒障害特別支援学級

- 1 自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度のも
- 2 主として心理的な要因による選択性かん黙等があるもので、社会生活への適応が困難である程度のも

⑦ 言語障害特別支援学級

口蓋裂、構音器官のまひ等気質的又は機

能的な構音障害のある者

吃音等話し言葉におけるリズムの障害のある者

話す、聞く等言語機能の基礎的事項に発達の遅れのある者

その他これに準ずる者（これらの障害が主として他の障害に起因するものでない者に限る。）で、その程度が著しいもの

5. 通級による指導とは

小・中学校の通常の学級に在籍している、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、言語障害、情緒障害、弱視、難聴などの障害がある児童生徒のうち、比較的軽度の障害がある児童生徒に対して、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障害の状態に応じた特別の指導(「自立活動」及び「各教科の補充指導」)を特別の指導の場(通級指導教室)で行う教育形態です。

[留萌市内の通級指導教室]

ことばの教室

・留萌小学校 ・東光小学校

6. 合同学習会

◎南部ブロックでは基本的に児童・生徒が年4回の合同学習会に参加できるよう、企画・運営

第1回 小中別

顔合わせ・自己紹介・レク

第2回 小3～6 宿泊学習

小1～2 音楽・レクなど

中学生 宿泊学習

第3回 小中合同 学習発表会

第4回 小中合同 卒業を祝う会

[合同学習会のねらい]

普段一人ないし二人で学習を行うことが多い児童生徒の実態を踏まえ、南部ブロックでは児童生徒の実態に出来るだけ合わせた小集団で学習したり、他校の児童生徒と交流を深めたりすることをねらいとして、年間を通して4回の合同学習を行っている。